



## 今月号の内容

WASLI 2011 in 南アフリカ: 今すぐ登録

WASLI最初のシーズンセール: 会議議事録割引販売

カナダでの共同合意文書

南アフリカで初の訓練を受けたろう手話通訳者

PAIDE (フィリピン) が第2回ゴールデンハンズを開催

ザンビアは新憲法において手話を認識し承認した

コソボで手話が承認される

セントルシア、**砂海**及びびろう

あなたの地域の通訳ニュースを我々と共有して下さい。2011年の最初の会報に投稿して頂ける方は、[newsletter@wasli.org](mailto:newsletter@wasli.org)までご連絡下さい。

次の会報の投稿の締め切りは、2010年1月14日（金）です。

## WASLI 2011 in 南アフリカ: 今すぐ登録

2011年7月14日～16日に南アフリカのダーバンで開催される重要な会議への期待が高まっています。当会議についての詳細や登録方法につきましては、以下の会議用のウェブサイトをご覧ください。

英語：<http://www.wasli.org/wasli-conference-2011-p37.aspx>

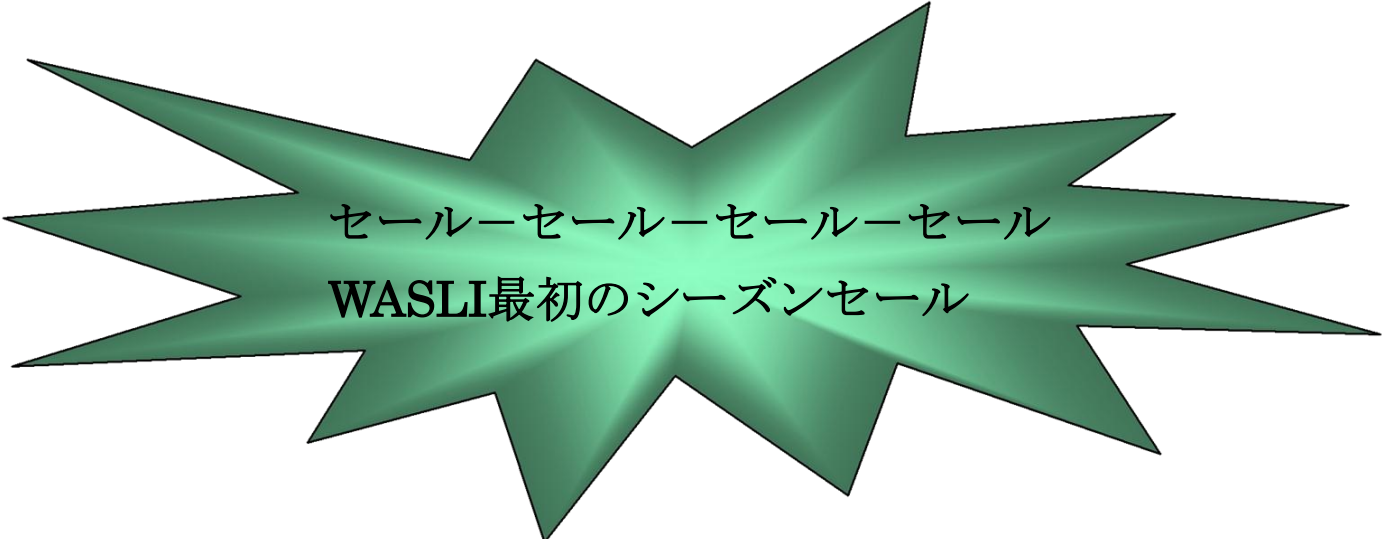
スペイン語：<http://www.wasli.org/conferencia-de-wasli-de-2011-p102.aspx>

我々は、仲間が発展途上国からこの会議に出席するための資金援助を期待しております。資金援助の方法の詳細につきましては、  
<http://www.wasli.org/sponsorship-programme-p96.aspx> をご覧ください。

基調講演者は、オーストラリアのコリン・アレン氏となることをお知らせいたします。コリン氏は、特に発展途上国におけるろう者の国際的な分野での就業経験が豊富であり、リレー通訳者です。彼の講演の要約は、  
<http://www.wasli.org/keynote-presenter-p127.aspx> でご覧頂けます。



2011WASLI会議はダーバンの海辺で行われます



セールーセールーセールーセール  
WASLI最初のシーズンセール

## 2005年及び2007年の会議の議事録

それぞれ£15.00（英国ポンド15.00）まで値下げし、世界各国どこへでも送料無料にてお届けします。

もしこれらの出版物がお手元になれば、割引価格でお買い求めになる絶好の機会です。  
<http://www.wasli.net/wasli-special-offers-p132.aspx>に移動して頂ければ、この価格での購入が可能です。

**ダブルでお得：**英国以外からお買い求めの方は、割引価格と英国ポンド安によりダブル割安となります。

これらを購入すべき人とは？

- ・通訳者
- ・通訳業を目指している学生
- ・手話通訳の指導者
- ・手話通訳のコースがある教育機関の図書館
- ・通訳者へのプレゼントを探している寛大な友達やパートナー

もうすでにお持ちですか？

その場合は、発展途上国の通訳者への寄付用にもう一冊購入してみたいかがでしょう。  
（お支払後、寄付したい旨のメールを [publications@wasli.org](mailto:publications@wasli.org) までお送り下さい）

割引価格は <http://www.wasli.net/wasli-special-offers-p132.aspx> で、期間限定です。

もし各議事録についての詳細が必要な場合は、  
<http://www.wasli.org/buy-from-wasli-p60.aspx> に移動して下さい。

ペイパル又はクレジットカードで購入可能です。



## カナダ

面積：9,984,670 km<sup>2</sup>

人口：33,487,208 人（2009 年 7 月推計）

首都：オタワ

言語：英語（公用語）58.8%、フランス語（公用語）21.6%、その他 19.6%（2006 年人口調査）

通貨：カナダドル（CAD）

GDP：\$38,400（2009 年推計）

（原典：<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ca.html>）

# カナダでの共同合意文書

WASLI 北米地域代表 デブ・ラッセル氏

昨年、私はカナダにおける主要 3 団体、カナダろう協会（CAD）、カナダろう文化協会（CCSD）及びカナダ視覚言語通訳者協会（AVLIC）との共同合意を結ぶために、AVLIC にアプローチしました。ろう者と通訳者に関わる組織間の全国レベルでの協働について、WASLI のコミットメントに沿って 3 つの組織は合意に至りました。この合意により、様々な点で 3 つの組織が AVLIC の創設時から協働していたことを正式に確認し、称賛することができました。

彼らの長期間にわたる協働の例としては、CAD と CCSD が AVLIC の創設会議の開催を促進する上で重要な役割を果たし、正式な支援を提供するために AVLIC の創設会議に代表者を送り込んだことが挙げられます。その後、CAD と CCSD は、試験開発に経済的支援を提供し、同時に最終的な評価プロセス、結果及び基準をもたらす重要な決定とプロセスを行うというカナダ評価システムの開発チームとしての主要な役割を担いました。さらに、あるイベントにおいては、全ての 3 つの組織がそれぞれの全国会議を、同じ週に同じ都市で開催し共同の祝宴の儀を行うに至りました。最終的に、ここ何年かの間に 3 つの組織の代表は、共通する懸案事項の問題を検討し、全ての団体に関連する事項について互いに協議するために、定期的集まる共同コミュニケーションチームを設立しました。

様々な点で、今回の共同合意文書の締結は、我々の過去の仕事上の関係と将来の協働及びコミュニケーションに対する新しいコミットメントを称賛するものであり、私たちの将来を過去の業務を通して支えることになりました。この合意に至るまで関与されたすべての人にお祝い申し上げます。



## 南アフリカ

位置：アフリカ南部、アフリカ大陸の最南端

人口：49,109,107 人

首都：プレトリア

言語：ズールー語（公用語）23.8%、コサ語（公用語）17.6%、アフリカーンス語（公用語）13.3%、ペディ語（公用語）9.4%、英語（公用語）8.2%、セツワナ語（公用語）8.2%、ソト語（公用語）7.9%、ツォンガ語（公用語）4.4%、他 7.2%、ンデベレ語（公用語）、ヴェンダ語（公用語）、スワーティ語（公用語）（2001 人口調査）

GDP：\$10,300（2009 年推計）

輸出品：金、ダイヤモンド、プラチナ、その他金属及び鉱石、機械設備

（原典：<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/sf.html>）

## 南アフリカで初の訓練を受けた手話通訳者

ムザンシ・ディトロキ氏の許可を得て再掲示（6 か月毎の南アフリカの手話通訳者の職業の調査レポート）

今回、正式に訓練を受けたろう手話通訳者が誕生しました素晴らしい功績です皆様に彼らを紹介できることを誇りに思います。彼らは、ポスター・マコラ氏（北西地域の地域会長）、ンコシナティ・デュロブ氏（ムプマランガの全国ろう青年協会の副会長）、チャリティ・シカワムバナ氏（リンポポ地域の社会援助者）、ファニ・ファニ・チャ氏（クワズール・ナタール州のホテルのキッチン勤務）、アイェシャ・ティリー氏（ガウテングの南アフリカ手話（SASL）のインストラクター）です。

ろう手話通訳者は、通訳の背景にある理論に精通するために、健聴の手話通訳者と同様の訓練を受けなければなりません。実技の訓練では、同時通訳及びサイトインタープリテーションを含む多様な通訳様式を取り入れました。彼らはどのように健聴者と協働するか、そしてどのように周囲視野を使うかを教わりました。

また、どのようにリレー通訳を行うか、特に「ホームサイン」の通訳をする場合の教育を受けました。彼らの通訳技術の向上は見事でした。献身と努力に感謝します。ろう手話通訳者の数名の人物評を新版の人物評欄に掲載致しますのでご覧下さい。彼らの試験結果を心待ちにし、私たちの仲間になることを心より歓迎します。



ボスター・マコラ氏、ンコシナティ・デュロブ氏、チャリテイ・シカワムバナ氏、ファニ・ファニ・チャ氏、ビビ・ティリー氏（写真には不在）

## フィリピン



位置：東南アジア、フィリピン海と南シナ海の間列島、ベトナムの東

面積：300,000 km<sup>2</sup>

人口：99,900,177（2010年7月推計）

首都：マニラ

言語：フィリピン語（公用語－タガログ語に基づく）及び英語（公用語）－8 大方言（タガログ、セブアノ、イロカノ、ヒリガイノン又はイロンゴ、ビコル、ワライ、パンパンゴ、及びパンガシナン）

GDP：\$3,300（2009年推計）

（原典：<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/rp.html>）

# PAIDEが第2回ゴールデンハンズを開催

ジョイ・ラノン・クリスタル氏

フィリピン手話通訳者協会（PAIDE）は、2010年5月2日の夜、マンダルヨングのレジエンドヴィラにおいて、第2回ゴールデンハンズを開催しました。フィリピンにおいてこのような活動する者の先駆けであり、RIDERS（手話通訳者登録協会）及びPAIDEの考案者であり最高経営責任者であるアルフレド・D.セラダ, Jr氏によって、ゴールデンハンズ賞を15年以上にわたり見事に献身的にろう社会に貢献した専門家に贈りました。

近年の受賞者は、ろう者に対して長年にわたり熱心に活動をし、ろう者の生活向上に大きく貢献をした方々です。全受賞者は教育関係者であり、彼らは学校での通常の求職状況を超えて、ろう者との関わりをもった支援活動の道筋を築きました。全受賞者は報酬なしで、技術や才能を共有するコミュニティや課外活動に従事してきました。PAIDE 理事長のレティ・V.ウイ氏は、ろう社会に対する彼らの寛大かつ不屈の貢献を称賛しました。

この表彰式には、PAIDEの手話通訳者、その支援者、ろう社会の仲間、様々な学校や組織の代表者が参加しました。フィリピンろう連盟（PFD）の副代表であるジュリアス・G.アンドラダ氏がこの表彰式のゲストスピーカーでした。彼は、協力者として尽くした献身的な健聴者を高く評価するというPAIDEの立派な行いを称えました。ろう者のアイデンティティと文化についての話では、アンドラダ氏は参加者全員に対し、手話とろう文化は切り離すことのできないものとして共に学ぶことを勧めました。彼は、より大きな社会がろう者の特有なアイデンティティを尊重し受け入れるようにさらなる支援を訴えました。



第2回ゴールデンハンズの出席者を歓迎するアティ・ジュディ・アリス・U・レポル氏。手話通訳ジェレミー・アン・D・ヴィラヌエーバ氏



授賞式の間に表示されたゴールデンハンズ賞のトロフィー



手話でメッセージを伝えるフィリピンろう連盟（PFD）副代表ジュリアス・G・アンドラダ氏



「マンダルヨングギャビ」の通訳でオープニングナンバーを披露するPAIDEのアーティスト

この大きな行事は、手話通訳者、出演者、プログラムディレクター、執筆者、助手、記録係、技術スタッフや案内係として働いたPAIDEの卒業生や指導者の協力なくして成しえませんでした。特に盛り上がったのは、芸術的な手話通訳者による美しい手話歌でした。優雅な司会進行で魅了した司会者のジュディ・アリス・U.レポル氏に深く感謝します。PAIDEの手話養成講師であるマイケル・S.ポティアン氏が表彰式のディレクターを務めました。



感動的なメッセージを伝えるレテイシア・V・ウイ理事長  
手話通訳マイケル・S・ポティアン氏（手話養成講師）

また、表彰式では、若者層を勇気づけ、熟練した手話通訳者と新しい手話通訳者に力を与えるコミュニティを形成し、PAIDEの活動に対して継続的な支援を示した2006年ゴールデンハンズ賞の受賞者も出席していました。



第2回ゴールデンハンズ賞の受賞者



## ザンビア



位置：アフリカ南部、アンゴラの東

人口：13,460,305 人

首都：ルサカ

言語：ベンバ語 30.1%（公用語）、ニャンジャ語 10.7%（公用語）、トンガ 10.6%（公用語）、ロジ 5.7%（公用語）、チュワ 4.9%、ンセンガ語 3.4%、トゥンブカ語 2.5%、ルンダ 2.2%（公用語）、カオンデ 2%（公用語）、ララ 2%、ルバレ 1.7%（公用語）、英語 1.7%（公用語）、他 22.5%（2000 人口調査）

通貨：[ザンビア・クワチャ](#)（ZMK）

GDP：\$ 1,600（2009 推計）

（原典：<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/za.html>）

## ザンビア新憲法で手話を認識、承認

ユフラシア・ムベウエ氏

ザンビアは、憲法会議を通じて憲法において手話を承認しました。2007 年 12 月から 2010 年 8 月まで、委員は憲法制定会議（NCC）に出席するよう任命されました。NCC には、489 人のメンバーがおり、私は唯一のろう者であり、盲者が一人及び身体障害者が一人いました。私たち 3 人は、ザンビアの障害者団体を代表していました。NCC は、共和党の副大統領、国会議員、大臣及びその補佐官、女性運動の代表者、宗教団体、労働組合、特定商取引協会、ザンビア大学の学生の労働組合、報道機関、教師の労働組合、そして政党で構成されています。NCC は、憲法の審査及び改正を行い、場合によっては削除し、憲法検討委員会（CRC）によって提出された新憲法を採決する権限を与えられました。条項の承認は、総意、つまり賛成または反対の拍手に基づいていました。しかし、一致した意見のない状態では、決断は、NCC の委員の 3 分の 2 の過半数の投票（秘密投票）によって決定されました。

支援運動とロビー活動を通して、私たちはいくつかの承認された条項を手に入れることに成功しました。例えば：

#### パートII、条項7

(2)公用語の他にも、手話を含むあらゆる言語は、教育機関での指導又は議会制定法で規定されている立法、行政若しくは裁判のための情報伝達媒体として使用することができる。

(3)ザンビアのすべての地方の言語は平等であり、国家はザンビアの人々の手話を含む言語の多様性を尊重し、奨励し、主張すべきである。

#### パートIV、条項47

(1)被告人が裁判で言語を理解できない場合、通訳者の支援、ろう者の場合は手話通訳者の支援を無償で受けること。

(2)人に情報を与えることが規約で要求される場合は、その情報はその人が理解することができる言語で与えられるべきであり、視覚障害者の場合は点字で、ろう者の場合は手話で与えられるべきである。

NCCは、これらの条項及び障害に関連した他の有効的で明快な条項を承認しました。ザンビアは、アフリカのウガンダ及び南アフリカの後に続きました。私は、対処しきれない困難な状況下にも関わらず、ザンビアの障害をもつ数多くの人々の代表として光栄に思われていることを非常に嬉しく思います。我々は、この結果の達成に貢献してくれたすべての関係者に感謝しています。法廷制定が最重要事項であり、そのことがすべての人々に利益をもたらす包括的な国家開発計画になるので、私はすべての人々の明るい未来を願っています。憲法に手話を含めることは、ザンビアのろう者の人々の未来を明るくするものです。世界中の他の政府が、自国の憲法が障害をもつ人々のための方策を講じていないようであれば、この例を見習うべきです。それは、障害者が自立して生活するための有力な法的手段です。

## コソボで手話が承認される

WASLIバルカン地域代表 セルマン・ホティ氏

2010年9月29日に、コソボにおいてコソボ政府は手話を承認しました。下記はコソボ政府からのメールです。

皆様

コソボ共和国の政府は、政綱で人権、特に障害をもつ人々の権利の尊重を優先しています。ろう者の言語権の獲得は、コソボ共和国の政府が取り組んでいた重要課題の一つです。現在その取組の結論が出たので、この基本的な権利も同様にコソボで尊重され実行されることとなります。

ところで、我々は、2010年9月29日にコソボ共和国の政府は第146定期会合を開催し、コソボ共和国において手話を正式化する決定をしたことを報告します。

この決定は、コソボ共和国の憲法、差別禁止法、障害者の国家的行動計画、障害者の権利に関する国連条約の条項を基にしました。

最終的に、コソボ共和国の政府は、障害者が尊厳を持って対応され、社会的に疎外されることなく我々の社会において平等かつ積極的な一員となるという目的を達成することに引き続き努めていくことを、グッドガバナンス事務局／首相官邸を代表して我々が保障します。

手話正式化グループのメンバー、コソボろう者協、この一連の行為をまとめることを支援して下さった国家的及び国際的な専門家に心から感謝します。

ご協力ありがとうございました。

ハビット・ハイレディニ

コソボ共和国政府人権コーディネーター

## セント・ルシア+



位置：カリブ、カリブ海と北大西洋の間の島、トリニダードトバゴの北

人口：160,922人（2010年7月推計）

首都：カストリーズ

言語：英語（公用語）、フランス語系パトワ語

通貨：東カリブドル

GDP：\$10,900(2009年推計)

（原典：<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/st.html>）

# セントルシア、砂の海とろう

リー・ホール氏—BSL(イギリス手話)/英語通訳者

セントルシアは、長さ 43.45km、幅 22.53km の島です。この島は、東カリブ海に位置し、ウィンドワード諸島で 2 番目に大きい島です。セントルシアの人口は 162,982 人（セントルシア人口調査）です。首都はカストリーズであり、主要言語は英語です。英国—フランスの二国の統治の結果として、フランス語に基づいたクレオール語も話されています。セントルシアには、西インド諸島で最も素晴らしい山の風景と見事な浜辺があります。セントルシアは、間違いなく、とても美しいです。セントルシア人の両親をもつ私なので、先入観が入っているかもしれませんが、毎年セントルシアを訪れる多くの観光客なら私の意見に同意してくれるでしょう。

セントルシアにいるときに、2 人のろう者のいとこがいるということを告げられました。これまで彼らのことを誰も口にしていませんでした。いとこの一人は英国で、もう一人はニューヨークで暮らしています。私はセントルシアに何度か訪れたときのことを思い出しましたが、ろう者を一度も見たことはありませんでした。私は、ろう者がどこにいたのか知りたかったです。彼らに対してどのような教育が提供されていたのでしょうか？彼らには英国のろう者と同様の困難があったのでしょうか？手話通訳者や CSW（コミュニティソーシャルワーカー）はいるのでしょうか？セントルシアに住むろう者にとってこの美しい島で暮らすことはどのような気持ちなのでしょう？

セントルシアのスクリーニングプログラムでは、新生児の聴力レベルの検査をします。この島には予防接種のプログラムがあります。政府の公式ウェブサイトでは、子どもの聴覚障害と関連するおたふくかぜ、風疹、髄膜炎の発症が減ったことが掲載されています。

セントルシアの教育要綱（2005）では、教育システムに関する情報を収集し分析されています。2005 年 8 月の報告書によると、「聴覚障害」の子どもの数が 10 年間（1994/5—2004/5）で劇的に減少しています。これらのデータは 2005 年までものしかなく、私はこの傾向が継続しているか知りたいと思いました。私は、年間で最もろう者を受け入れている学校を訪問することにしました。この期間（1994/5—2004/5）、これらの学校には平均 31 人の「聴覚障害」の生徒が在籍していました。この報告書では、すべてのレベルの聴覚障害を「聴覚障害」として分類しています。

レディゴードンセンター・オブ・オポチュニティは、島の特別教育センターの一つです。それは、南カストリーズのシセロンと呼ばれる場所にあります。センターのスタッフは ASL（アメリカ手話）を使ってろう学生と会話をします。また、センターは、様々な学習障害をもつ学生を引き受けます。

私は、センター長のプレヴァイル氏、彼女のチームメンバー及び生徒に会いました。プレヴァイル氏と彼女のスタッフが生徒及びろう社会の人々に対して提供する仕事量及び支援に驚きました。英国では外部機関が担うであろう多くのサービスを彼女のチームが提供していることに気がつきました。就職面接、警察署、様々なテーマについて話す講演者の招待が支援に含まれます。レディゴードンセンター・オブ・オポチュニティは、その生徒及び卒業生にとってろう社会の中心であるように思えました。これは、すでに広がっているスタッフや支援者のメンバーに必然的に大きな圧力をかけています。

彼女の学校におけるろう学生の減少について聞いたとき、プレヴァイル氏は、7人のろう学生しかいないことを教えてくれました。この現象が政府の健康プログラムの影響か又は両親が子どもを学校に入れようとしなからなのかは分からないと彼女は説明しました。また、我々の議論は学校及びろう社会の人々が抱える問題や課題も明らかにしました。

## 問題点

- 教育—さらなる ASL 訓練が必要である。このセンターはより高水準の ASL をろう学生及びろう社会に提供できる必要がある。これは、ろう社会が言語的に適切な水準でコミュニケーションをとれることを確保するためである。これは ASL を使う他のカリブ諸島やアメリカのより広いろう社会に良いコミュニケーションをとる手助けになる。
- 優先事項—政府は、新生児のスクリーニング検査を優先することを決定した。これは立派なことであるが、政府は今もなおろう者の問題に対応していかなければならない。
- 社会—ろう者と一度も会ったことがないセントルシア人もいるため、彼らとどのようにして有効的にコミュニケーションをとれば良いか分からないかもしれない。ろう社会と健聴社会とのつながりの欠如は、互いについて誤った認識に至ることがある。

- ・ 法的問題—セントルシアにはきちんと資格認定された手話通訳者がいない。これは、セントルシアのろう者が訴訟手続きを理解できないため、ろう者はその法体制における法廷代理人をもたないことを意味する。
- ・ 医療—医師は、ろうの患者と会話することが難しいだろう。これは医師と患者の両方にフラストレーションが生じてしまうことになる。患者が正しく理解されないこととなり、最悪の場合は薬の処方間違いられることになる。
- ・ ろう者は、同年代の健聴者と同様の雇用機会が与えられない。これは就職面接等へのアクセスの欠如によるものだが、このことはろう社会の人々が就職できない状況又は単純労働にしか就けない状況につながる。

その週の後、私はレディゴードンセンター・オブ・オポチュニティの3人の「ろう支援者」と会いました。彼らは、10人のろう者の友人を連れてきました。私のASLはアルファベットに限定されていましたが、私たちはお互いを理解しあえるまでコミュニケーションをとることができました。彼らとの会話の中で明確だったことは、彼らはセントルシアの成長に貢献する機会が欲しいということでした。彼らは、聴者のように働き、希望と大志を持ちたがっています。彼らは、セントルシアに影響のある事柄について知識を続けて得るために、情報へのアクセスを要求しています。彼らは、保護を受けたくはなく、ろう社会のその他の人々の模範となる人物になれるよう公的な権限をもちたいと思っています。夜が更けるにつれて、彼らのうち数人は、手話通訳者がいなく、支援者（学校のスタッフを除く）がいなく、代弁者のいない世界に住むことがどのような感じなのか体験談を話してくれました。次々、夢と希望が止められてしまい、情報のアクセスがなく生活が危険にさらされているという話でした。

ろう社会のメンバーからの話を聞いた後、私はいくつもの提案をしました。これらの提案が実施されることができれば、セントルシアがろう社会の人々に対してさらに平等を与えることに向かって前進し始めることができるものと、私は確信しています。

## 提案

- ・ろう者に効率的に応じる ASL を使う他の国からインフラモデルを学習する必要がある。そして専門家を使って成功につながる戦略を全て実施する。
  - ・セントルシアの手話通訳者に教えるために、ASL 通訳者をトリニダード又は/及び米国から呼ぶことができる。
  - ・通訳の訓練を促進するために、地元事業からの資金援助及び政府からの助成金を増やす。
- 手話通訳を高水準に訓練する目的は、ろう者に権利を提供し、国全体で ASL コミュニケーションを標準化することである。
- ・ろう者の啓蒙プログラムを作成し、雇用者や公共団体に対し、ろう者の社員やサービス利用者の将来性を理解するために必要な全ての情報を教える。
  - ・ろう者は、健聴者と同様の機会を得られるようになるべきである。そのためには、同等レベルの教育を受ける手段が必要である。
  - ・ろう者クラブの設立が以下の理由から必要である。(a) ろう者が交流でき、強いコミュニティ基盤を構築できる、(b) 手話を利用する者が、相乗的な学習を求める環境でろう者と会うことができる、(c) 要求を草の根レベルから評価し実現することができる。
  - ・セントルシア政府に対し、ろう者の問題についてもっと真剣に考えるよう働きかけをする必要がある。
  - ・WFD (世界ろう連盟) は、セントルシアのろう社会に積極的な役割を担う必要がある。2008 年 6 月、WFD は、セントルシアがろう社会の状況を分析するために資金提供を必要とする島の一つであるという所見がなされたと記載された報告書を発表した。

原点 : <http://www.stats.gov.lc/>、<http://skoolvibz.com/goc.html>、[www.wfdeaf.org](http://www.wfdeaf.org)

### 著者について



#### 著者について :

リー・ホール氏は、最近、SLI で BSL 通訳において大学院の学位を経てプレストン大学で MRSLI としての資格を得た。2003 年 8 月に、リー氏は治安判事裁判所での責任者としての仕事から辞職し、初めのうちは CSW として新しい仕事に着手した。彼女の過去 3 年は、就労支援の分野で働くこ

とに費やされた。2010 年 1 月に、彼女はフルタイムのフリーランスの通訳者として働き始めた。

## **重要事項**

このニュースレターの記事内容が必ずしも世界手話通訳者協会の見解を反映するものとは限りません。WASLI ニュースレターは、編者が理事会及び外部からの寄稿者と共に作成しています。WASLI は発信した情報の信頼性を確保するように努めます。WASLI は、内容の正確性や意見についての責任を一切負いません。出典さえ明らかにすれば、このニュースレターの情報を使用することができます。WASLI の公式な写真の使用許可の申請及びメールアドレスの変更を申告する場合には [secretary@wasli.org](mailto:secretary@wasli.org) までご連絡下さい。

## **WASLI 理事会**

役員：リズ・スコット・ギブソン（会長）、ファン・カルロス・ドウルエッタ（副会長）、ゼイン・ヒマ（事務局長）、ダニエル・バーチ（会計）

地域代表：市川恵美子（アジア）、ジョージ・メジャー（南洋州オセアニア）、フィレモン・アカッチェ（アフリカ公式代表）、ジャック・オウィティ（アフリカ臨時代表）、セルマン・ホティ（バルカン）、マルコ・ナルディ（ヨーロッパ）、ホセ・ルイス・ブリエバ・パディラ（ラテンアメリカ）、デブ・ラッセル（北アメリカ）、アンナ・コマロワ（ロシア・コーカサス・中央アジア）

## **WASLI ボランティア**

WASLI ホームページ管理者：デイビッド・ウォルフエンデン

WASLI 会員管理者：ロビン・デムコ

WASLI 翻訳コーディネーター：ラファエル・トレビーノ（ボランティアも含む）

ニュースレター校正者：パトリック・ガラッソ、アラン・ウェンツ

養成作業グループボランティア

認定評価作業グループボランティア